

野研びより

鳥編

野外生物生態調査研究部

2018年6月



図1. コウライキジ オス
(2018年5月 学園木花台)



図2. コウライキジ オス
(2018年5月 学園木花台)

コウライキジ

学名：*Phasianus colchicus karpowi*

分類群：鳥綱 キジ目 キジ科

全長：オス 約 85cm メス 約 50cm

コウライキジの名前の由来は高麗(朝鮮)のキジ¹⁾という意味。

[色]

- オスの顔は真っ赤で、首には白い輪があり胸から腹は褐色²⁾で斑点模様がみられます。
- メスは地味な茶色で全身に斑点模様があります。

[分布]

- 江戸時代に長崎県の対馬、また近年では北海道で放鳥され、生息しています。³⁾本亜種はユーラシア大陸で生息しています。
- 平地から山地の草原や農耕地などを生息場所としています。
- 野研の調査での発見時はビニールハウスの中で、落ちたトマトをつついて食べているところでした。また時折、「ケーンケーン」と鳴いて羽を広げバサバサとあおいでいました。

参考文献

- 1) 繁殖期のコウライキジ 動物 鳥類の写真 GANREF
https://ganref.jp/m/inpute/portfolios/photo_detail/01acb1395e1eba6a572df031d33ab9d5
- 2) 日本の鳥 550 山野の鳥 文一総合出版
- 3) 日本野鳥大鑑 鳴き声 420 小学館